

徐々に暖くなり、花々が美しい季節になりました。“春眠暁を覚えず”という言葉があるように、春の夜はとても寝心地が良いと言われています。しかし、一方で日本人の4人に1人は睡眠での休養が不十分であると感じているという調査結果もあります。そこで、今回は『不眠』に関するお話です。

★ 不眠とは？

- ① なかなか寝付けない！
- ② 熟睡ができない！
- ③ 睡眠の妨げで、充分なリフレッシュができない！

《 不眠症状 》

- ① 入眠困難：寝付けない！
- ② 中途覚醒：何度も目覚め二度寝できない！
- ③ 早期覚醒：朝早く目覚め！
- ④ 熟眠障害：熟睡感が無い！



頻度については、毎晩の方もいれば、週に数回という方もおり、『眠ろうとしてもなかなか眠れない！』という体験を少なからず経験されていることと思います。人間はストレスに直面すると、身体の活動を活発化させます。そのため、いつでも動ける状態に保とうとし、目が冴えてなかなか眠りにつけないと言った状況が引き起こされます。この緊張状態が緩和されれば、その多くは時間の経過と共に少しずつ解消されていきます。

★ 不眠恐怖！

眠れない日が続くと、『今日も眠れないのではないかな？』という不安と『眠らなくては？』という焦り等から緊張し、目が冴えてしまう不眠恐怖という状態になり不眠を悪化させます。

★ 不眠症！

不眠症状が1ヶ月以上続き、日中の体のだるさ、意欲・集中力の低下、食欲低下、抑うつ、めまい、頭が重たい感じ等の不調が出現する病気です！又、免疫力の低下により、感染症に罹り易くなったり、血圧や血糖値が上昇し高血圧になったり、糖尿病になるリスクが高くなります！

★ 不眠症の予防法

不眠症を予防するためには、まず不眠恐怖を断ち切ることが大切です。『いつかは眠くなるそれまでは起きていよう！』というくらいに割り切る方が、良い結果をもたらします。また、不眠症状を改善させるには、下記の中から自分に合った対策を施してみましょう。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ① 終身、起床時間を一定にする！ | ② 睡眠時間に拘らない！ |
| ③ 太陽の光を浴びる！ | ④ 10～15分程度の昼寝を取り入れる！ |
| ⑤ 適度な運動をする！ | ⑥ 寝る前に、リラックスタイムを持つ！ |
| ⑦ 寝る前にテレビやパソコンを見ない！ | ⑧ コーヒー等、カフェイン含有物は控える！ |
| ⑨ 終身1時間前は、タバコを吸わない！ | ⑩ 寝酒をやめる！ |

★ 睡眠の効果

睡眠中はさまざまなホルモンが分泌され体を修復し、新陳代謝を促して日中の活動で疲れた身体を効率よく修復します。又、脳が休息するための大切な時間でもあります。身体の疲れは横になって休むだけでもある程度回復できますが、脳は起きている間中働きっぱなしで、眠ることでしか休息できません。私達は、心と身体の健康を保つために眠る必要があるのです。



《 たかが睡眠、されど睡眠 》 日常生活には欠くことができない生理現象です。不眠が治らない時には、躊躇せず専門医(心療内科、精神神経科、精神科等)に相談しましょう！